



研究業務の紹介

当センターは以下の3部門・8部体制で構成されています。令和3年度は以下の30テーマ（新規11テーマ）の研究に取り組みます。技術的課題の解決につながるなど、ご興味のあるテーマがありましたら、是非お問い合わせください。また、企業や大学との共同研究等にも取り組んでいます。

技術連携部門

産学連携部	工業系試験研究機関の総合窓口・広報 ぎふ技術革新センター事業の企画運営等
技術支援部	ワンストップ相談窓口、高度分析、EMC試験等

地域産業部門

機械部	機械加工、自動化、計測制御等
金属部	金型、刃物、鋳造、鍛造・プレス等
化学部	プラスチック、石灰、化学工業等
繊維・紙業部	繊維工業、紙・紙加工品、印刷等

次世代産業部門

次世代技術部	複合材料、輸送機器、医療機器等
情報技術部	AI、IoT、画像処理、メカトロニクス等

分野	課題名	年度	担当部
評価技術	クレーム対応のための分析試験の高度化	R1-R5	技術支援部
	EMC試験設備を活用した電子機器の高品質化	R1-R5	技術支援部
機械	新 難削材の高効率切削加工に関する研究	R3-R5	機械部
	プレス金型の故障診断手法の確立	H29-R3	機械部
金属	新 鋳鉄の歪み取り熱処理に関する研究	R3-R5	金属部
	新 水栓製品の品質向上に関する研究	R3-R5	金属部
	金属材料への表面処理技術に関する研究	R1-R3	技術支援部
	刃物製品のブランド力向上のための切れ味評価技術の開発	R2-R6	金属部
	表面処理/表面加工による金属製品の高品質化	R2-R4	金属部
化学・プラ	新 現場生産性向上を図る高機能プラスチック製品の開発	R3-R7	化学部
	新 石灰水洗ケーキの環境材料への応用	R3-R5	化学部

研究業務の紹介（続き）

分野	課題名	年度	担当部
繊維・紙	GIFUブランド繊維製品の開発	R1-R4	繊維・紙業部
	高保温性不織布の開発	R2-R4	繊維・紙業部
	美濃産コウゾの高品質化のための栽培・管理技術の開発	H27-R3	繊維・紙業部
複合材料	新 現場生産性向上を図る高機能プラスチック製品の開発	R3-R7	次世代技術部
	新 プレス成形技術・接合技術を活用したCFRP製品の開発	R3-R5	次世代技術部
	新 高強度FRTPの評価技術に関する研究	R3-R5	次世代技術部
	軽量材料／情報技術を活用した福祉機器の開発	R1-R3	次世代技術部
	セルロースナノファイバーを用いたマルチマテリアル化	R1-R5	次世代技術部
情報技術	新 ものづくり現場の生産性向上のためのAI技術の活用に関する研究開発	R3-R5	情報技術部
	新 製造・修理工程の効率化を目的とした不具合情報分析と製造・修理計画の支援技術に関する研究	R3-R5	情報技術部
	新 屋内移動支援機器向け安全装置の研究開発	R3-R5	情報技術部
	スマート金型の応用展開に関する研究	R1-R3	技術支援部
	品質見える化のための画像センシング技術に関する研究開発	R1-R5	情報技術部
	IoT技術を活用した予防保全に関する研究開発	H29-R3	情報技術部
	クラウド技術を活用したリモート監視に関する研究開発	H29-R3	情報技術部
	革新的生産技術による生産性の向上	R1-R5	情報技術部
	AI技術を活用した検査工程の省力化・効率化	R1-R5	情報技術部
	目視検査員のための目のセルフケア支援技術の研究開発	R1-R3	情報技術部
	温湿度センシングに関する技術開発	R1-R3	情報技術部

◇ 共同研究、受託研究、緊急課題技術支援 ◇

【共同研究】（昨年度実績：37件）

当センターと企業や大学等と共同で研究開発を行う制度です。それぞれの人材、設備、資金を有効に活用して研究効率を高めることが期待できます。

【受託研究】（昨年度実績：1件）

企業の抱える技術課題を有料で受託して研究を行う制度です。

【緊急課題技術支援】（昨年度実績：30件）

企業が抱える緊急性の高い技術課題に対して集中的に支援することで、早期に課題解決を図る制度です。